



# 西念寺だより

如月号



平成31年2月14日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027 0774-63-2912

## 心に生きるお釈迦様の教えー涅槃会

立春を過ぎたとはいえ、体の芯まで冷気が応えるような寒さが続く毎日ですが、檀信徒の皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。いよいよ平成もカウントダウンが始まり、様々なところで「平成最後の～」というフレーズが目立つようになりました。



さて、先日の12日は福田定一氏の命日に当たります。それ誰？と思われる方も多いと思いますが、筆名を司馬遼太郎氏と言えば『竜馬がゆく』や『坂の上の雲』等で知られる作家、評論家であるとお分かりいただけると思います。



ちょうど平成に入った頃、私は6年生の担任をしていたのですが、国語の教科書に司馬遼太郎氏の「21世紀に生きる君たちへ」が教材に取り上げられていました。

この中で、「私は人という文字を見るとき、しばしば感動する。斜めの画が互いに支え合って、構成されている。人間は、決して孤立して生きられるようにはつくられていない。一中略一 助け合うという気持ちや行動のもと、いたわりという感情である。他人の痛みを感じることに言ってもいい。「やさしさ」や「おもいやり」「いたわり」「他人の痛みを感じること」これらの言葉は、もともと一つの根から出ている。例えば、友達がころぶ。ああ痛かったろうなと感じる気持ちを、その都度自分で作りあげていけばよい。そういう自己をつくっていけば、21世紀は皆が仲良しで暮らせる時代になるにちがいない。」と述べられています。

また、2月15日はインドで佛教を開かれたお釈迦さまが80年のご生涯を閉じられた日で、ご命日にお釈迦さまをしのんで修せられる法要を涅槃会といいます。



お釈迦さまの生涯を振り返りますと、35歳で悟られてから亡くなられるまで、45年間にわたって人々を教え導く伝道の旅に費やされたと言っても過言ではありません。

お釈迦さまの大切な教えの一つに「慈悲」というものがあります。「慈悲」の「慈」とは「苦しみを抜いてやりたい」という心、「悲」とは「楽しみを与えてやりたい」という心で、これを「抜苦与楽」といいます。

日々の生活の中で、私たちはいくら相手を理解したいと思っても、相手と同じ気持ちになることはなかなかできません。でも同じ気持ちにはなれないけど、「傷ついた相手の悲しみにどこまで向き合えるか」ということはできます。慈悲とは、最後まで相手の心に寄り添っていくという教えです。

ところで、最近のニュースでよく見かけるのが、幼い子どもに対する虐待事件です。東京都目黒区の5歳児に対する事件では父親が食事を与えず暴行を繰り返し、千葉県野田市の小学校4年生の児童に対する事件では虐待暴行もさることながら、関係機関のお粗末な対応や父親自身の異常なほどの二面性が表面化しました。

AIをはじめ日進月歩を遂げる技術革新の一方で、本来最も安心できる場であるはずの家庭内でこのような事件が起こる現実をもっと真摯に受け止めることが大切だと思います。

21世紀になって間もなく20年、あと2ヶ月あまりで元号が変わり、新しい時代の幕開けとなります。次に来る新しい時代こそ、平成の始まりに司馬遼太郎氏が子どもたちに発信されたメッセージや2500年も前に説かれた慈悲というお釈迦様の教えが、真に私たちの心の中に生きる教えとなることを願いたいものです。

**裏面に続く**

## 【佛教婦人会新年会の様子から】

新年明けて間もない1月10日、佛教婦人会主催の恒例新年会が行われました。今回は宇を茂様を会場に小林喜代司市議員様、大崎勲総代長様を御来賓にお迎えし、多くの会員様に御参加いただき盛大に行われました。誠に有り難うございました。今後とも、檀信徒各位の佛教婦人会への御入会を心よりお待ちしております。



## 【春彼岸会のお知らせ】

3月に入りますと、例年の如く春彼岸会を次のように予定しております。中日法要では、最初に彼岸回向の法要の後、奈良教区善福寺副住職川野真広上人にお越し頂き、中国伝統楽器”二胡”によるコンサートを開催いたします。

これまで春彼岸では演奏家をお招きしたコンサート、秋彼岸では住職、副住職による法話を行ってきましたが、今回の春彼岸では上記のような取組を計画いたしました。

これまでのように親しみやすい曲を演奏頂き、楽しんで頂くだけではなく、演奏を通じて御参加いただいた皆様方に、「ああ、極楽って、いいな。お念仏っていいな」と思ってもらえる演奏会を目指して計画を進めていただいています。

宗歌「月影」をはじめ、皆様よくご存じの曲や川野上人御自作の浄土宗の教えを分かりやすく説かれた曲など、演奏とトークを交えた充実した会になると思います。

是非皆様お揃いでお参りいただきますよう、宜しく申し上げます。

- |        |       |                    |   |
|--------|-------|--------------------|---|
| 18日(月) | 彼岸の入り | 午前10時～             | ・お彼岸回向 (施主別回向)  |
| 21日(木) | 中日法要  | 午後1時より<br>午後1時40分～ | ・お彼岸法要<br>・中国伝統楽器”二胡”による<br>お彼岸コンサート<br>・解散 午後3時頃を予定しています |
| 24日(日) | 結 願   | 午前10時～             | ・お彼岸回向 (施主別回向)  |

## 【建築資金寄進のお知らせ】

今回、下記の方から建築資金の寄進を賜りました。観音堂、鐘楼の新築、山門の再建等、まだまだ資金が必要の中、御協力賜り誠にありがとうございました。

- ・建築資金寄進 50万円 施主 谷 好輝 様

## 【永代祠堂料御寄進のお知らせ】

今回は古川タツエ様の十三回忌、古川清様の五十回忌にあたり、永代祠堂の御寄進をいただきました。誠にありがとうございました。

- ・永代祠堂料 金10万円 為 芳心院至誉誠室立信大姉 (故 古川タツエ 様)  
為 弘誓院邦誉浄覚清信居士 (故 古川 清 様)  
施主 匿名希望者 様

## 【院号料御寄進のお知らせ】

今回は安岡義雄様より安岡秋子様のお逝去に際し、また田邊浩行様より田邊昭喜様の逝去と昭喜様御内儀の直美様院号授与に際し院号(什器什物)料の御寄進いただきました。誠に有り難うございました。

- ・院号(什器什物)料 金35万円 為 善徳院説誉正法成信大姉 (故 安岡秋子様)  
施主 安岡義雄様
- ・院号(什器什物)料 金70万円 為 善修院昭誉歡喜純明居士 (故 田邊昭喜様)  
為 智光院直誉西入昭信大姉 (田邊直美様)  
施主 田邊浩行様